

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東北)	◎	－	－
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響を受けた8月までは飲食店はテイクアウトを中心に強化していた。その効果が徐々に現れ、現状では客を取り戻しつつあり、テイクアウトでの新規客が少しずつ店にも来るようになってきている。今後を期待をしている。
	○	衣料品専門店（店長）	・前年は10月からの増税で我々の業態は10～11月は全く動かず、12月の始めから1月の中旬くらいまでにはほぼ前年並みに戻ったという状況があった。そこから新型コロナウイルスの話になってくる。この先、新型コロナウイルスの影響が一巡する辺りからは前年をかなり上回ってくるのではないかとみている。これ以上拡大しない限りは、経済は少しずつ平常時に戻り、少し上向いてくるのではないかと。
	○	家電量販店（店長）	・最近、来客数や販売単価が向上している。
	○	乗用車販売店（従業員）	・新型車が投入されるので、ようやく新車の販売が増えるのではないかとみている。
	○	乗用車販売店（従業員）	・今後は春に宣伝を自粛した分増やす予定なので、新規客が見込める。メーカー施策も多くなり、年末年始はこの地域の新型コロナウイルス感染者数が増加しない限り、実績は伸びるとみている。
	○	住関連専門店（経営者）	・受注生産なので、今後2～3か月の受注量がたくさんあり納品をしなければならぬので、今月の販売量を上回る。
	○	住関連専門店（経営者）	・ネット販売の順調は続くかとみている。
	○	競艇場（職員）	・年末年始はイベントが多いため自然と人が集まる。今の客単価を保ちつつ年末年始に突入すれば売上が見込めると予測している。
	○	住宅販売会社（経営者）	・相続物件の買取依頼が多く、計画的な不動産再販及び新築受注予定がある。
	□	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・商品動向は引き続き変わらないとみている。販売企画の仕掛け、客とのコミュニケーション能力の更なる向上をはかり、来店頻度、客単価のアップを狙っていきたい。
	□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・先が読めない。新型コロナウイルスの状況にもよるし、それに伴って商品の入荷状態もまだ見えてこないもので、現状と変わらないのではないかとみている。
	□	一般小売店〔酒〕（経営者）	・ここに来てまた新型コロナウイルス感染者が増加傾向にある。政府からの自粛勧告が聞こえるようになり、ようやく戻りつつあった状況がまたゼロかそれ以上のマイナスに向かっていくのではないかと不安が大きい。感染者がそこまで多くない地方にとって、首都圏からの観光客を受け入れたいと思うと感染リスクの板挟みになっている。
	□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・一部の業種で新型コロナウイルスの悪影響が大きいと報じられる一方、株価の上昇など相反する動きがみられる。政府の対策もあり、一方的な動きにはなっていないようである。従来景気悪化がいわれたときも往々そのように経過をたどっている。新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、当面大きな変動はないのではないかと。
	□	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・今現在仕立ての注文がないとそれに伴う売上のめどが立たず、厳しい年末になる。
	□	百貨店（売場主任）	・冬を迎えるにあたり、新型コロナウイルス以外にもインフルエンザ等の感染を警戒し、不要不急の外出や買物は控えることが予想され、当面現在の売上水準が続くものとみている。
	□	百貨店（営業担当）	・今後も来客数トレンドは現況と変わらないと考えられ、今と比べて大きな改善は見られないと予想している。
	□	百貨店（買付担当）	・シニア層が多いため、来客数は新型コロナウイルスの感染状況によって左右されるとみている。
□	スーパー（店長）	・相変わらず来客数の微減が続いている。この状況はしばらく続くかとみている。	
□	スーパー（店長）	・現在、Go To EATキャンペーンの食事券の販売をしている。現在の店の推移と、その現状を合わせていくと、それほど大きな数字の変化はないとみている。	

<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス感染症がまん延しているため、コロナ需要は続くと思われる。2～3か月後もコロナ需要があるので、小売業としては景気が良いところで継続していくとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がどれだけあるのか分からない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・冬季期間での環境変化、消費動向が上向きとなる兆候は少なく、現状維持が見込まれる。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・現状では消費者の購入マインドが上がるとは考えにくい。土日祝日、イベントなどで集客の山が小さく分散されつつあり、この消費者動向の変化にどれだけ対応できるかが小売側に問われている状況である。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・新車は新型コロナウイルス感染者が増加する前の受注があるので、3月くらいまでは特に問題はないとみている。また、サービス部門は車の法定点検の対象台数がある程度あるので、それなりに収益を上げることは可能である。しかし、来期が心配である。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔靴〕（従業員）	・新型コロナウイルスの終息が見通せない状況なので何とも言いえないが、コロナ禍以前の状況に戻るのには時間が掛かるとみている。インフルエンザとの同時流行も心配である。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・たとえ新型コロナウイルスの感染が収まったとしても急激な消費拡大はない。また、新型コロナウイルスで経済が回らなくなれば、深刻なことになるところがいっぱい出てくる。不安な状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・G o T oキャンペーンにより消費が活発化してきたが、東京や北海道での事態を受けて身の回りでも警戒が強まるのではないかとみている。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・来年の予約もほとんどなく、これまで例年あった団体の予約もないため、レストラン業としては大変厳しい状況が続いていく。どこまで持ちこたえられるかという状態である。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスが終息するまでは良い状態にはならない。良くなってきたと思った矢先の第3波で、それによるキャンセルも相次いでいるため、今後も良くならないのではないかと予想している。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染症の拡大が都市部で出ているため、この先は不安である。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（経営者）	・月末になって新型コロナウイルス感染者が増えてきており、どのように変化していくのか読めない。営業自粛要請が出れば別だが、今よりは少し落ち着いた感じで推移していくのではと推測する。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・観光地には人が多く、一見にぎわっているかのようにみえるが、来ている年代をみると20～30代が9割を占めている。この先、この若い方々がタクシーを利用することは考えにくい。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・好転するような材料に乏しく、余り良くない現状が継続するとみている。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・新規のサービスエリアに対し大規模な加入促進キャンペーンの展開を予定しているため、新たな客の掘り起こしが期待できる。一方で高齢者や引っ越しによる解約者も若干増えるため、純増数では現状と余り変化しないと予想される。ただ、在宅時間は増えているので新規客の上積みも期待できる。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク（職員）	・客はクーポンでお得に宿泊、買物をしているが、クーポンがなければコロナ禍の始まりと同じになってしまうのではないかとみている。むしろ景気が回復するのか不安である。
<input type="checkbox"/>	遊園地（経営者）	・これからシーズンオフに向かうが、新型コロナウイルスの感染状況やボーナス減少の懸念があることから、不透明な状況が続く。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・例年であれば毎月には来ない客も暮れには来る。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大が勢いを増しているため、来店サイクルが長くなることはあっても短くなることはなく、現在の再来店率が前年の約9割といった状況がしばらく続くのではないかとみている。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（経営者）	・コロナ禍ではあるが、契約や引渡しに向けて予定どおりに進んでいる。一部現場で新型コロナウイルス感染者が出ているが、大勢に影響しない範囲で対応できている。
<input type="checkbox"/>	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・リフォームの屋外工事は減り、住宅設備器具の暖房設備の交換、購入は増えることが予想される。

▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染者が増加傾向であることから、年末年始商戦に大きな影響を与える。Go Toキャンペーンの施策に反して景気はやや悪くなる見通しである。
▲	商店街（代表者）	・冬に向けて新型コロナウイルス感染症の第3波の影響が不安材料である。
▲	百貨店（経営者）	・更に気温が低下し、新型コロナウイルスへの防衛意識は強まり、更に来客数は落ち込むと予測している。初売りの集客も分散化しており、消費意欲が今よりも高まることは考えにくい。ただ、株価も安定しており、高額商品の動きには期待している。
▲	スーパー（経営者）	・消費環境改善の話も聞かれない。新型コロナウイルス感染者の増加で、観光客の減少が続き、土産物関係、テナントや近隣飲食店の売上が激減している。また、酒蔵各社でも減収などで各社雇用維持も限界に来ていると聞く。農家も米の減収で所得が減っているとのこと。主要客の懐はかなり厳しい状態で、消費環境は一層厳しさを増してくるのではないかと危惧している。
▲	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの第3波で年末の帰省客の動向が鈍くなるとみている。
▲	スーパー（店長）	・冬のボーナス減少、全体的な経済の冷え込みが予見されているなかでは、食品小売業界が現状良いとはいえ楽観視はできない。
▲	スーパー（営業担当）	・当県でも新型コロナウイルス感染者が増加傾向にある。年末年始の帰省の減少や経済的なダメージを受け、年末年始の消費が減少するのではないかとみている。
▲	スーパー（営業担当）	・Go To EATキャンペーンで食事券の販売が開始されたが、予測以上に需要が高い。外食の利用率は高まってくるとは思えないかと考えるが、新型コロナウイルス感染の広がりによっては、自粛が強まり、経済の動きが止まってしまうことが懸念される。
▲	コンビニ（経営者）	・今月は若干来客数が戻り始め、売上も連れて若干アップしている。しかし、新型コロナウイルス感染症の第3波の影響でGo To Travelキャンペーンが一部ストップし、人出の制限が掛かるとすれば売上アップは見込めそうにない。現時点では再度のダウンの可能性もある。
▲	コンビニ（経営者）	・このままいくと、このコロナ禍で変わらないか下がっていく。まず新型コロナウイルス感染が収束しない限りは行楽も何もないので、そういった意味では危機感を持っている。
▲	コンビニ（経営者）	・県内の新型コロナウイルス感染者が増えてきており、先行きが不透明である。飲食業の営業時間短縮要請が出れば、また夕夜間の来客数が減少し厳しくなる。
▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染者の増加に歯止めが掛からず、季節要因と重なり更に厳しい経営状況が予想される。
▲	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス感染症の再拡大による自粛により、年末年始の消費が落ち込むと予測している。
▲	衣料品専門店（経営者）	・個人客の来店が激減しているので、お歳暮商戦は法人関係へのDM配布や訪問で販路拡大に努め、懸命にマスクや新型コロナウイルス対策関連商品の売り込みを行っている。
▲	衣料品専門店（経営者）	・閑散期ということもあるが、不要不急の外出を控える方がもっと増え、来店数に影響が出ると予測する。
▲	衣料品専門店（総務担当）	・冬のボーナスの支給なし又は減額の話聞く状況で、景気が上向きになるとは考えにくい。
▲	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響で景気が徐々に悪くなるのではないかと考えている。客の買物動向もテレビなど一部売上の良いものもあるが、全体的には客単価が下がってきている傾向にある。
▲	家電量販店（従業員）	・コロナ禍の影響で空気清浄機、加湿器が売れている状況の反動減が、2～3か月のうちに出てくるのではないかと心配がある。
▲	乗用車販売店（本部）	・受注好調な新型車の納期がひっ迫してきた。納車までの時間が掛かりすぎるため、購入自体を取りやめる客も出ている。現状、新型車に依存した収益構造のため、先行きは不透明である。
▲	住関連専門店（経営者）	・今年の年末年始は通常よりかなり経済的に落ち込むことが予想される。また、2月は例年景気が悪いので、今月の売上等を維持するのは難しいとみている。

▲	その他専門店 [ガソリンスタンド] (営業担当)	・新型コロナウイルス感染拡大が進み、年末年始の移動需要等は期待できず、これまで以上の販売量の減少が想定される。
▲	その他小売 [ショッピングセンター] (統括)	・新型コロナウイルスの感染状況がかなり深刻化しており、その影響が経済活動にも出てくることが予想される。
▲	旅行代理店 (従業員)	・新型コロナウイルスの感染者数が増え、かつ、Go To Travelキャンペーンの期間延長の有無が不透明なため、新規の旅行需要が伸びない可能性が高い。
▲	旅行代理店 (従業員)	・元々が旅行先代替地であった大阪市、札幌市のGo To Travelキャンペーン一時除外が決定したことにより、旅行自体の中止、更なる延期などが予想され、悪くなるとみている。
▲	タクシー運転手	・新型コロナウイルス第3波の影響が出てくる。
▲	通信会社 (営業担当)	・当面、新型コロナウイルスの影響で営業活動が制限される状況が続く。
▲	観光名所 (職員)	・直近の政府の動きにより、Go Toキャンペーンも雲行きが怪しくなっており、新型コロナウイルス感染者数が増えるに従い予約も徐々にキャンセルが入っている。これからは少し下向きになるのではないかと心配をしているところである。
▲	美容室 (経営者)	・段々と歳を取っていく客ばかりで新しい客が来ない。
▲	その他サービス [自動車整備業] (経営者)	・新型コロナウイルス感染症の第3波、Go Toキャンペーンの中止や制限で、この冬はかなり厳しくなるとみている。
×	商店街 (代表者)	・新型コロナウイルス感染の拡大によって、来客数が極端に減っている。12月の予約も全くないという状況になるおそれがある。
×	商店街 (代表者)	・年末の売上の低下が著しい。
×	一般小売店 [医薬品] (経営者)	・冬のイベントや初売りなどが予定されているが、客の話だとクラスターを恐れている人は出歩かないだろうということであり、非常に寂しい状態が続くとみられる。前年からみたらそれでも来客数が減少しているのに、ますます悪くなるということが現在の状況から想像できる。
×	スーパー (経営者)	・新型コロナウイルス感染症の第3波がどのように落ち着くか。また、冬場に第4波等々の懸念があり、コロナ不況、将来不安により、財布のひもが固くなる。
×	コンビニ (経営者)	・新型コロナウイルス感染者が増えてきて来客数が伸びないので、これからどんどん悪くなるとみている。
×	コンビニ (経営者)	・冬期間は売上が下がり光熱費が上がる。除雪費も大きな負担となり毎年厳しい。今年は更に新型コロナウイルスの影響で売上前年比が大きく下がっている。冬を越すことができるだろうか。力尽きるオーナーたちもたくさん出てくるのではないだろうか。今年の冬がコンビニを始めて1番の地獄になる。
×	コンビニ (エリア担当)	・新型コロナウイルス感染者が増加し、自粛規制の強化により人の動きが悪くなると予測される。人の動きがないと商売としてマイナスになることは間違いない。
×	コンビニ (店長)	・新型コロナウイルス感染者拡大により、市内の年末商戦は惨敗が濃厚である。よって、我々コンビニにも悪い影響が流れてくる。また、多くの企業でボーナスもかなり減るといったことを聞くので、年末年始から2月までは非常に悪くなるのではないかとみている。
×	衣料品専門店 (経営者)	・冬物も終わりの時期になるため、売上也厳しくなると予想される。
×	衣料品専門店 (店長)	・冬に入り、当県でもクラスターが継続的に発生している。自粛が強化されると防寒着、フォーマル等の売行きに影響が出る。
×	その他専門店 [酒] (経営者)	・新型コロナウイルスの感染者数が多くなり、Go Toキャンペーン関連も落ち込むことが予想される。いずれにしても飲食店で感染者が出ないようにすることが最優先なので、何とか耐えられるような方策を立てるしかないと考えている。
×	その他専門店 [食品] (経営者)	・冬期間は閑散期になるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響は春頃まで継続すると予想している。

	×	高級レストラン（経営者）	・11月中旬過ぎから第3波が始まっているので、これが収束するのは1月終わりくらいとみている。良くなる要素はない。
	×	高級レストラン（スタッフ）	・メディアでの新型コロナウイルス報道のため、来店がますます見込めない。クリスマスは前年の5割程度と見込んでいる。12月から2～3月までは客数の更なる低調が続くとみられる。
	×	高級レストラン（支配人）	・新型コロナウイルスの第3波が地方にまできたので、利用控えが大分増えている。クリスマス、年末商材等はまだ予約は少ないが、テイクアウト商品は前年に比べて受注が倍くらいになっている。
	×	一般レストラン（経営者）	・11月の中旬から12月の予約が入るが、新型コロナウイルスの影響で団体客の宴会が入ってこない状況である。例年と比べたら12月は余り期待できず、悪くするとみている。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染者が出ると外食や買物に出てこなくなる傾向が続くのではないかと。ワクチンができて人々が安心感を持つのは先のため、当分経済は悪化するとみている。
	×	観光型ホテル（経営者）	・今後の景気が良くなるか悪くなるかは新型コロナウイルスの感染状況次第だが、現在の状況では悪くなる確率が高いとみている。
	×	観光型旅館（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染の拡大により、旅行、忘年会などを自粛する企業や官庁関係が多い。新規の申込みも減少傾向にある。
	×	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス感染が更に拡大し、Go To Travelキャンペーンの制限措置も加わり、制限エリアに関係なく旅行需要が落ち込むことを懸念している。実際に12～3月までの第4四半期において、延期となっていた修学旅行の中止が発生している。
	×	タクシー運転手	・これからの季節、新型コロナウイルスの感染拡大が心配である。人の活動の制限が入ってくるので、我々の仕事にとっても大きな影響が出てくる。
	×	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で年末年始の消費動向が低迷し、景気は悪くするとみている。
	×	通信会社（営業担当）	・全国的に新型コロナウイルスの第3波が発生しており、本格的な冬を迎え、感染者がますます増加することが予想される。再度の緊急事態宣言が発出されれば、従来にないくらいの景気悪化が予想される。
	×	通信会社（営業担当）	・携帯業界の乗換え制度等見直しなどの検討で、自社にプラス方向に作用することは考えられない。
	×	観光名所（職員）	・冬の感冒に対する危機感から更に出控えが加速することが予想される。忘年会、新年会等の開催は全て中止となり、明るい話題も見つからない。
企業 動向 関連 (東北)	◎	金属製品製造業（経営者）	・カメラメーカーの増産予定による受注が見込まれる。
	◎	輸送用機械器具製造業（経営者）	・自動車関連の受注は安定している。
	○	コピーサービス業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響は確かに出ているが、この状況がしばらく続くと覚悟を決めている企業が多く見受けられる。投資をしないで様子を見ている企業もあるのだろうが、設備に関する相談を受けるケースも増えてきているので期待している。
	○	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・当地域では新型コロナウイルスによる先行き不安は薄れてきており、状況は良くなるのではないかとみている。
	□	農林水産業（従業者）	・天候にも恵まれ、りんごの品質が今までになく良かったので、前年並みの販売単価を期待している。
	□	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス感染の拡大で、年末の帰省に影響が出ないかと心配している。
	□	食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染が収束しないと、景気の好転もないとみている。
	□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・ワクチン等の接種がない限り改善には向かわない。
	□	電気機械器具製造業（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響で大きく上向くことはないが、現在の状況はほぼキープするとみている。
	□	建設業（従業員）	・2～3か月先に新型コロナウイルスの影響がどう波及しているかが読めないため、現時点では判断できない。

	<input type="checkbox"/>	通信業（営業担当）	・新型コロナウイルスによる客の消極的な反応はしばらく続くとみられる。
	<input type="checkbox"/>	通信業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症の第3波により、購入に慎重な方が増えてきている。ただ、受注量は前年とほぼ変わらない予定である。
	<input type="checkbox"/>	金融業（営業担当）	・新型コロナウイルスの状況が落ち着くまでは厳しい状況が続く見込みである。
	<input type="checkbox"/>	金融業（広報担当）	・当地域では新型コロナウイルス感染症が間を置いて発生している。政府及び地方公共団体主導の新型コロナウイルス対応がどの程度影響するか次第だが、現状では年末年始に向けた個人消費は例年水準ではないにしろ相応に期待できる。
	<input type="checkbox"/>	広告業協会（役員）	・真冬に感染がどうなるか検討も付かず、販促キャンペーンやイベントを企画するも、実施できるのか半信半疑の状態である。現時点で2～3か月後の状況を語るのは難しい。
	<input type="checkbox"/>	その他企業〔企画業〕（経営者）	・スーパーマーケットに年末需要はあるが、今年は新型コロナウイルスへの懸念から、来店回数を加減したいという客の声もあり、気に掛かる。
	<input type="checkbox"/>	その他企業〔協同組合〕（職員）	・見積案件等微増であるが、同業他社との価格競争が依然として厳しく、なかなか受注にこぎつけない状況である。さらに、納期が非常に短く厳しい。
	▲	農林水産業（従業者）	・米の在庫増により、米価の下落基調が今後も続くと予想される。
	▲	食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症の第3波到来の影響がこれから出てくるとみている。また、東北地方は通常1～2月は観光オフシーズンに入ることから、G o T oキャンペーンが継続されるとしても利用者がそれほど増えるとは思えない。
	▲	出版・印刷・同関連産業（経理担当）	・先行きの受注の状況は悪い。年末年始のチラシの量は、新型コロナウイルスの感染が落ち着かないと前年比20～30%の落ち込みとなりそうで、景気は更に悪くなりそうである。
	▲	電気機械器具製造業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症の第3波により、再度のロックダウンを余儀なくされる可能性がある。
	▲	建設業（企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチンや特効薬が開発されない限り、景気状況が劇的に回復することはないと推察する。国が推進している各種のG o T oキャンペーンは、景気のコ入れに寄与していると考えるが、冬場を迎え新型コロナウイルス感染が拡大傾向にあることを踏まえると、この先の景気は現状よりやや悪くなるとみている。
	▲	輸送業（経営者）	・新型コロナウイルス感染第3波の影響が年末から年明け早々にかけて出るのはないか。やはりワクチンを接種できる状況にならないと景気の回復が安定しない。
	▲	広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の第3波がきているようなので、悪くなると見込んでいる。
	▲	経営コンサルタント	・新型コロナウイルス感染症の第3波の到来が景気を失速させる可能性が高くなっている。
	▲	司法書士	・新型コロナウイルスの影響による住宅購入希望者の収入減少に伴い、住宅ローンの審査が通らない事例が増加したと聞く。不動産取引自体の減少傾向が継続している。
	▲	公認会計士	・小売や飲食関係のサービス業は、G o T oキャンペーンなどで売上が一時的には下げ止まるであろうが、コロナ禍前の状態に戻るのには厳しい。建設関係も同じく状況は厳しい。したがって、全体的には景気は悪化すると予想される。
	▲	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大による外出控えで、業務用を中心とした数字が落ち込むとみている。
	×	窯業・土石製品製造業（役員）	・官民需要の減少に加え、新型コロナウイルス感染が更に拡大しつつあり、多様な業種に影響が出ている。
雇用 関連 (東北)	◎	—	—
	○	*	*
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・取引先である100名規模のコールセンターから3月末での閉鎖を告知された。政府のコストダウン要請やA I自動化へのシフトなど急速な再編を推進するようである。3月は若干派遣社員の異動が予想される。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・3か月前と比べると雇用の意識は高くなっている。しかし、この先は、建設業界では新しい物件が余り出てこない、専門商社では小売店の業績が回復する見込みがないなどにより、今よりも悪化することはないが上向く様子もみえる。

□	人材派遣会社（社員）	・求人数、求職者数共に増加傾向にある。特に求職者に関してはコロナ禍で転職市場に出てきやすい販売、接客系の経験者の方が増えている。一方で、採用する企業側は即戦力採用に伴う募集が増えたことから採用要件が高くなっており、その両者をつなぐマッチングがどの程度進むのかは不明瞭な部分がある。
□	人材派遣会社（社員）	・求人数も、求職者数も景気の先行きが安定しないと大きな変化は見えない。
□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響は続く。
□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスワクチンの普及状態にもよるが、先行きの不透明感は相当期間続く印象をもっている。
□	職業安定所（職員）	・業種により差はあるが、求人数は持ち直しが見られたものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大で求人者からは再び警戒感が出ており、先行きは不透明である。現在の雇用は、雇用調整助成金の特例措置が再び延長となり、当面は維持されそうである。
□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染の影響がどの程度出てくるのかみえないことから、良くなるとも悪くなるともいい難い状況である。
□	職業安定所（職員）	・雇用調整助成金の特例が12月末で終了する。
□	職業安定所（職員）	・新規求人数に回復の兆しが出てきたが、周辺の事業所に大きな動きが見られないため、今後しばらくは現在と同様の状況で推移していくものとみている。
▲	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、派遣活用に対する様子見傾向が出始めている。
▲	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス感染症の第3波の影響で景気が停滞する。
▲	アウトソーシング企業（社員）	・現在また新型コロナウイルスが猛威を振るい始めているため不安である。
▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・年末から初売りに掛けて社運を賭ける商業界だが、2月以降は手立てがみえない状況との声が地元経営者からは聞こえてきている。加えて、雇用調整助成金の特例措置の延長は2月末までという予測もあり、厳しさは増してくるものとみられる。
▲	職業安定所（職員）	・体力のない中小零細企業がコロナ禍により決算期に倒産することが懸念される。
▲	学校〔専門学校〕	・新型コロナウイルス感染症の第3波がきて、景気は鈍化し始めている。
×	人材派遣会社（社員）	・3月以降、改善傾向にならないため、2～3か月後も改善しているとは思えない。